

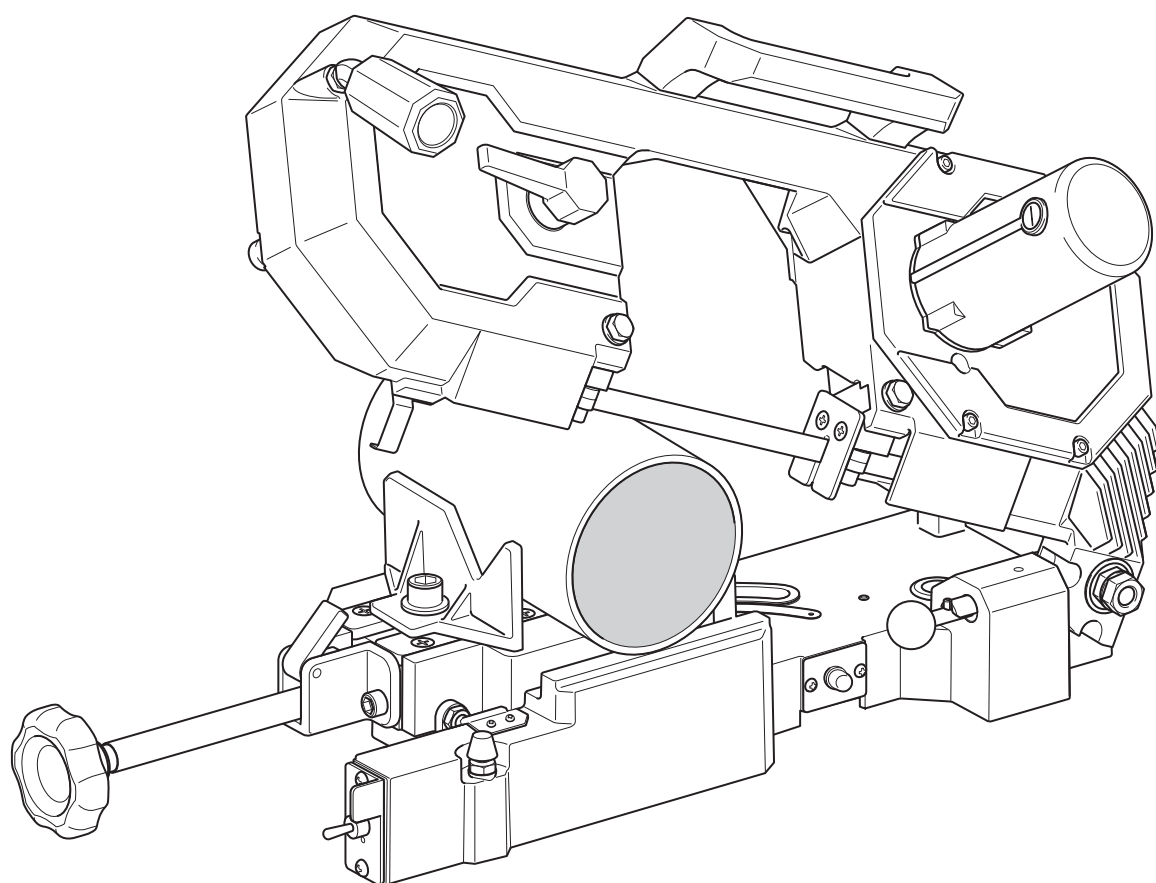
Asada

環境を守る親切ツール

バンドソー

ビーバー4 ACTIVE

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

安全にご使用いただくために

このたびは、バンドソービーバー4 ACTIVEをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を充分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、直ちに次の項目を確認してください。

- ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
- ・ 輸送中の事故等で破損、変形していないか。
- ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
(本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の3つのレベルに分類されます。



本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。



本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

目次

安全上のご注意	2	使用後の清掃	16
製品構成	5	保管	16
各部の名称	5	保守・点検	17
仕様	6	のこ刃の交換	17
別販売品	6	プーリゴムの交換	19
のこ刃の選定表	7	カーボンブラシの交換	20
準備	9	日常の点検とお手入れ	21
運搬	9	修理・サービスを依頼される前に	22
据え付け	9	配線図	24
作業環境の整備・確認	10		
操作	11		
運転前の準備	11		
材料の取り付け	12		
角度切りを行いたい場合	13		
切断作業	14		
材料を外す	15		

BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

安全上のご注意

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、必要なときにすぐに取り出して読めるよう大切に保管してください。

⚠ 危険

- ◆ 感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。
- ◆ 濡れた手で電源プラグを電源コンセントに差し込まないでください。
- ◆ 雨中や本機内部に水の入りやすい場所では、使用しないでください。
- ◆ 電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。
- ◆ 電源コードを持って電源コンセントから引き抜いたり、電源コードの上に本機を置いたりして電源コードを損傷させないでください。
- ◆ 延長コードはアース線を備えた3芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫なものをご使用ください。

⚠ 警告

- ◆ 発熱、発煙、発火の原因となりますので、電源電圧は100Vで使用してください。
- ◆ 切断時に押し込む等の過負荷でモータが停止するような無理な使い方はしないでください。
- ◆ 電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。
- ◆ 本機が発熱や発煙した場合は、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。
- ◆ アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。
- ◆ 引火、爆発の恐れがありますのでガソリン、シンナー等の可燃性の液体やガスの近くでは使用しないでください。
- ◆ 本機はスイッチを切っても、惰性で刃が回転します。動いているのこ刃や回転部に触れないでください。
- ◆ 切断面は鋭利になっています。直接手で触れないでください。
- ◆ のこ刃や回転部に触れる場合は、本機のスイッチをOFFにし電源プラグを抜いてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込むときは、スイッチがOFFになっていることを確認してください。
スイッチがONの状態 で電源プラグを電源コンセントに差し込むと、本機が急に動き事故の原因となります。
- ◆ 使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。
回転部に巻き込まれ、ケガをします。
- ◆ 切断作業時等の作業は手袋を使用しないでください。
巻き込まれてケガをします。

バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

警告

◆ のこ刃は作業中に回転します。

ネクタイ、ネックレスや袖口の開いた服は巻き込まれてケガをします。着用しないでください。

◆ 長い髪は回転部に巻き込まれてケガをします。帽子やヘアカバー等で覆ってください。

◆ 本機を使用しない場合や停電、保守、点検の場合はスイッチを OFF にして電源プラグを抜いてください。

本機が急に動き事故の原因になります。

◆ のこ刃を回転させたまま放置しないでください。他の人が巻き込まれて事故の原因になります。

◆ 長い材料を切断する場合はパイプ受台を使用してください。

材料の重みで本機が浮き上がる等により不安定になるばかりでなく、切断精度の悪化や機械の故障、事故の原因になります。

◆ 切断中は保護メガネを使用ください。切粉が目に入る恐れがあります。

◆ 切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。目に入り失明することがあります。

◆ 粉じんの多い加工では、防じんマスクを使用してください。粉じんが口や鼻に入る恐れがあります。

◆ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

◆ 切断直後の断片は高温になっています。直接手で触れないでください。

◆ 重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。

◆ 切粉が付着した状態での運搬は滑りやすいので、持ち上げるときに足の上へ落とさないでください。

◆ 傾斜していたり、不安定な場所には設置しないでください。本機が転倒しケガをします。

◆ 転倒してケガをしますので無理な姿勢で作業をせず、足元をしっかりとってください。

◆ 疲労、飲酒、薬物等の影響で作業に集中できないときは使用しないでください。

◆ スwitchを ON にする前に、点検や調整に使った工具を本機から取り除いてください。

◆ 指定の標準付属品や別販売品以外は使用しないでください。

◆ 運転中本機の異常（異臭、振動や異常音等）に気付いたときはただちに停止し、本書の「修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。

◆ 修理はお買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。

◆ 本機は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。

BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

注意

- ◆ 電源コードの上に本機や材料を置かないでください。コードを破損させ、漏電の原因になります。
- ◆ フレームを下へ降ろすときに手をはさまないように、手の位置に注意してください。
- ◆ 長尺の材料をセットしたまま本機から離れないでください。材料でつまずき、ケガをします。
- ◆ 本書にしたがって、標準付属品を確実に取り付けてください。
取り付けが不十分だと外れたり落ちたりし、ケガや事故の原因になります。
- ◆ モーターが過負荷で停止した場合は、必ずスイッチをOFFにしてください。
スイッチがONの状態では過負荷保護から復帰すると、のこ刃が回転し事故やケガの原因になります。
- ◆ 使用前に本機に損傷がないか点検し、正常に作動するか確認してください。
- ◆ 長時間本機から離れるときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 本機を落としたり、ぶつけた場合は、破損、亀裂、変形等がないか点検してご使用ください。
異常があるまま切断しても、精度がでない他、ケガや事故の原因になります。
- ◆ 作業台や作業場は整理整頓し、いつもきれいにし十分な明るさを保ってください。
- ◆ 本機に担当者以外を近づけたり、操作させたりしないよう管理してください。
- ◆ 本機を使用しないときの保管は、乾燥した場所で子供の手が届かない、または鍵のかかる場所にしてください。
- ◆ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

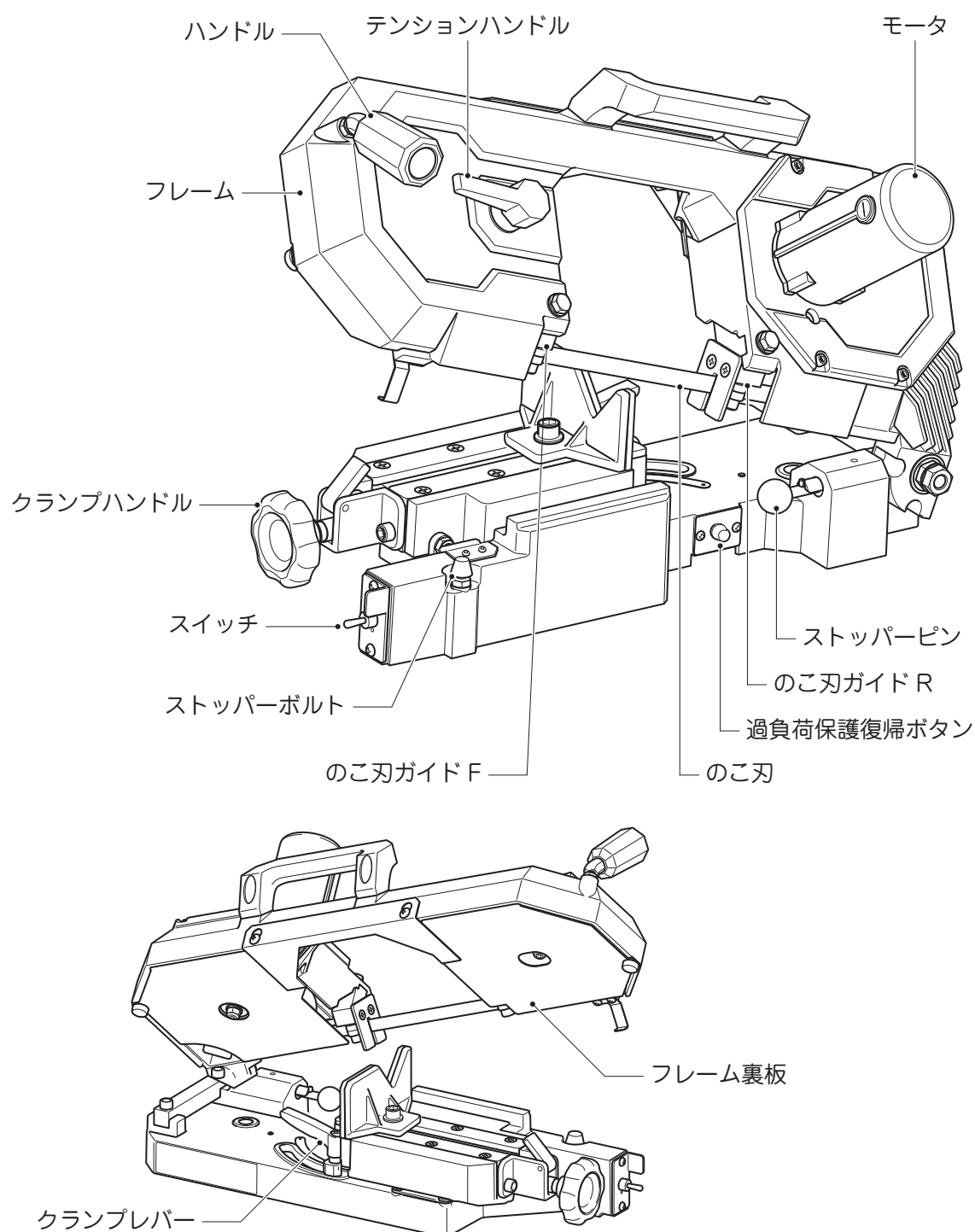
バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

製品の構成

各部の名称

- 本機には警告シールが貼付してあります。

安全確保のための説明が書かれていますので、きれいに保ち、はがれたり見つらくなったりした場合は、弊社へ請求してください。そして必ず同じ場所に貼り直してください。



BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

仕 様

品 名		バンドソービーバー4 ACTIVE
コードNo.		BA400
切断能力	鋼管	90° : $\phi 120\text{mm}$ (100A) / 45° : $\phi 50\text{mm}$ (40A)
	H鋼	90° : $100\text{mm} \times 100\text{mm}$
	角パイプ	90° : $\square 100\text{mm}$ / 45° : $\square 50\text{mm}$
	丸棒(軟鋼材)	90° : $\phi 50\text{mm}$ / 45° : $\phi 50\text{mm}$
のこ刃周速	無負荷時	75m/min (50/60Hz)
	切断時	45m/min (50/60Hz)
モータ		単相シリースモータ 100V(50/60Hz) 240W
機械寸法 (L×W×H)		600 × 250 × 290 mm
梱包寸法 (L×W×H)		640 × 270 × 320 mm
本体質量		16.5kg
梱包質量		18kg
標準付属品		71151 バンドソーのこ刃ハイス14山 (4A) 1本

※仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

別販売品

コードNo.	品 名	単 位	摘 要
71151	バンドソーのこ刃ハイス 14山 (4A)	5本	ガス管40A以上、鋼材肉厚4mm以上
71152	バンドソーのこ刃ハイス 18山 (4A)	5本	ガス管32A以下、鋼材肉厚4mm以下、電線管
BA900	バンドソーパイプ受台4A用	1台	最低高さ75mm、最高高さ100mm、最大荷重80kg

バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

のこ刃の選定表

		14山	18山
ガス管	～32A		○
	40A～65A	○	○
	80A～100A	○	
電線管	薄鋼		○
	厚鋼		○
鋼材 (丸棒・型鋼) (肉厚・mm)	～3.9		○
	4.0～4.9	○	○
	5.0～	○	
SUS管 (肉厚・mm)	～3.9		○
	4.0～	○	○
樹脂管		○	
排水用鋳鉄管（給水用は除く）		○	

※ のこ刃の選定は、被切断材の肉厚内に2山（2P）以上ある事を基準に山数を選んでください。

※ 上記表は目安になります。材料が斜めに切断される場合は、切断中もフレームを手で支えながらゆっくりと切断してください。

BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

準備

運搬

⚠ 警告

- ◆ 重量物ですので、特に持ち上げるときはひざを曲げ、腰に負担がかからないようにしてください。
- ◆ 切粉が付着した状態での運搬は滑りやすいので、持ち上げるとき及び運搬中に足の上に落とさないでください。

据え付け

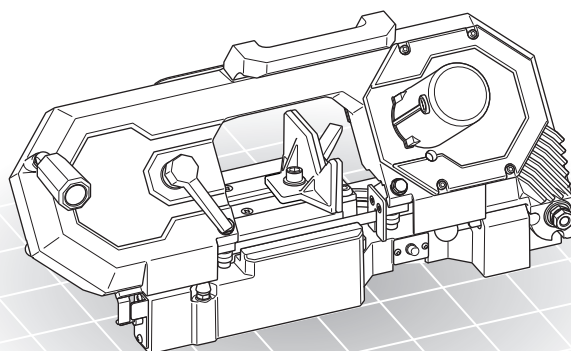
⚠ 危険

- ◆ 感電し、死亡することがあります。必ずアースをしてください。
- ◆ 濡れた手で電源プラグを電源コンセントに差し込まないでください。
- ◆ 雨中や本機内部に水の入りやすい場所では、使用しないでください。
- ◆ 延長コードはアース線を備えた 3 芯キャプタイヤケーブルを使用し、屋外使用の場合は特に気を付けて丈夫な物をご使用ください。

⚠ 警告

- ◆ アース線をガス管に取り付けると爆発の恐れがあります。絶対にしないでください。
- ◆ 引火、爆発の恐れがありますのでガソリン、シンナー等の可燃性の液体やガスの近くでは使用しないでください。

- ① 湿気のないところに置いてください。
- ② 平坦でガタ付きのないところ、または平坦な作業台の上に置いてください。
- ③ 本機周りには十分なスペースを確保してください。特に長い材料を加工する場合には注意してください。
- ④ 長い材料を加工する場合にはパイプ受台を使用し、本機が浮き上がる等の無理な力が掛からないようにしてください。
- ⑤ 電源には感電防止用漏電しゃ断器が設置されていることを確認してください。(※1)
- ⑥ 延長コードを使用する場合は、規格に適合したものをご使用ください。(※2)



BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

※ 1：アース（接地）、漏電しゃ断器の確認

- ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下漏電しゃ断器）が設置されていることを確認してください。

また、本機は必ずアース（接地）をしてください。

定格感度電流 15 ミリアンペア（mA）以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアース（接地）されることをおすすめします。

2 ピンのプラグアダプタで使用するときは、アダプタのアース（接地）線を用いて接地してください。

- アース（接地）線は、念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アース（接地）線と本機金属外枠との間の導通を確認してください。

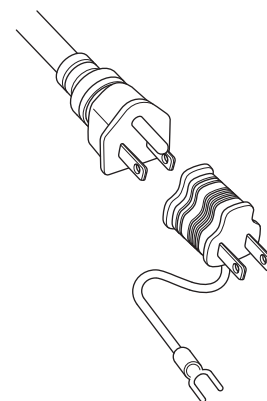
地中にアース極（アース板、アース棒）を埋め、アース線（接地）を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

- 漏電しゃ断器やアース（接地）については次の法規があります。

労働安全衛生規則：第 333 条 漏電による感電の防止、第 334 条 適用除外

電気設備の技術基準：第 18 条 設備工事の種類、第 28 条 機械器具の鉄台および外箱の接地、

第 41 条 地絡しゃ断装置等の施設



※ 2：延長コードを使用する場合

- 電源の位置が離れていて延長コードが必要なときは、製品の最高の能率で故障なくご使用いただくために、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

左の表はコードの太さ（芯線断面積）によって、本機に使用できるコードの最大長さを示します。これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

延長コードは必ずアース（接地）できるアース（接地）用の 1 芯を持つ 3 芯ケーブルタイプをお使いください。

芯線断面積	最大長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	15m
3.5mm ²	30m

作業環境の整備・確認

- 作業する場所が、本書の『安全上のご注意』の注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

◎ 騒音防止規制について

騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じて、遮音壁を設けて作業してください。

バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

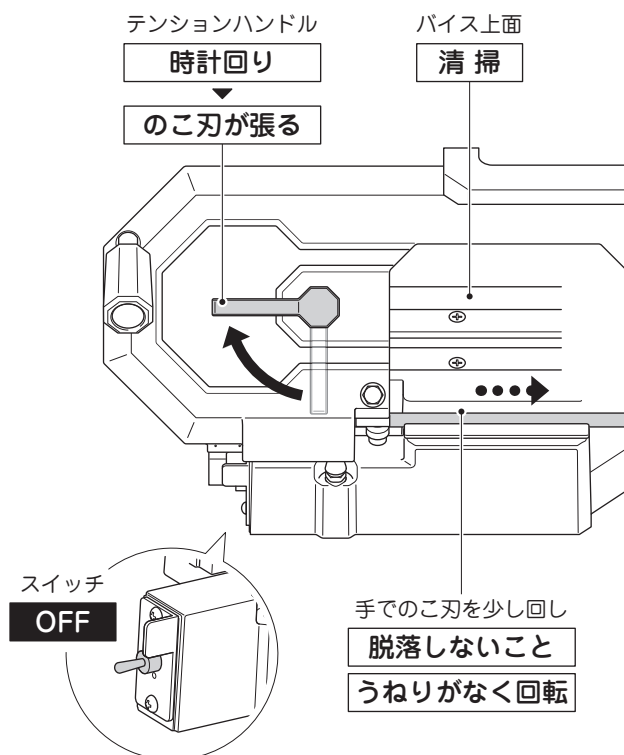
操 作

運転前の準備

⚠ 注意

- ◆ 取扱説明書の選定表を参考に、被切断材に合った山数ののこ刃を選定してください。
- ◆ 被切断材にのこ刃を乗せた状態でスイッチを ON にしないでください。
機械の故障の原因となります。
- ◆ 切断の際は、のこ刃が十分に回転してから、ゆっくりと被切断材にのこ刃を降ろしてください。
急に降ろしたり、強く押し込むと機械の故障の原因になります。

- ① バイス上面の砂・土・切粉・ほこり等を取り除いてください。
(新品の場合はバイス上面に防錆油が塗ってありますので、きれいな布で拭き取ってください。)
- ② テンションハンドルを時計方向に回し正面から見て9時の方向になるよう回し切ってください。
のこ刃が張ります。
- ③ のこ刃の背を手で掴み、少し回してのこ刃が脱落しないこと、うねりなく回転することを確認してください。
- ④ スイッチが OFF になっていることを確認してから、電源コードを差し込んでください。



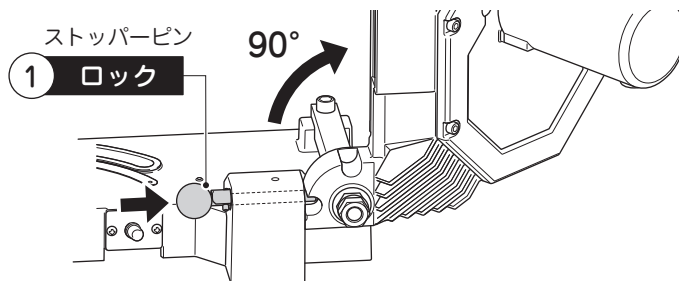
⚠ 警告

- ◆ 準備や調整作業のときは、必ず電源コードを抜いてください。
ふいに回りだし、事故やケガの原因になります。
- ◆ のこ刃を正しくセットして、フレーム裏板を必ず閉じてください。

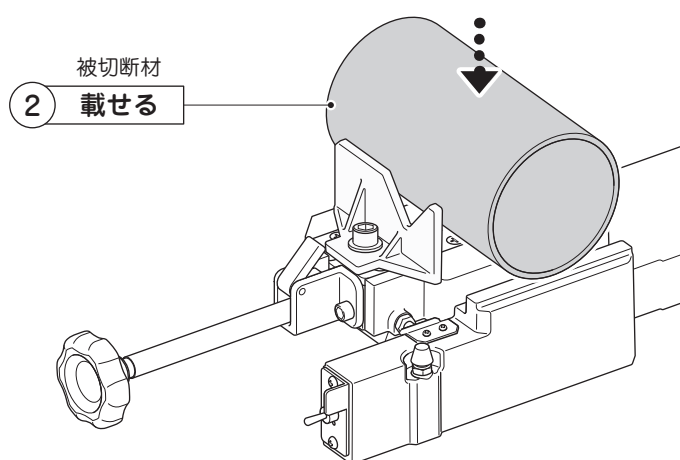
BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

材料の取り付け

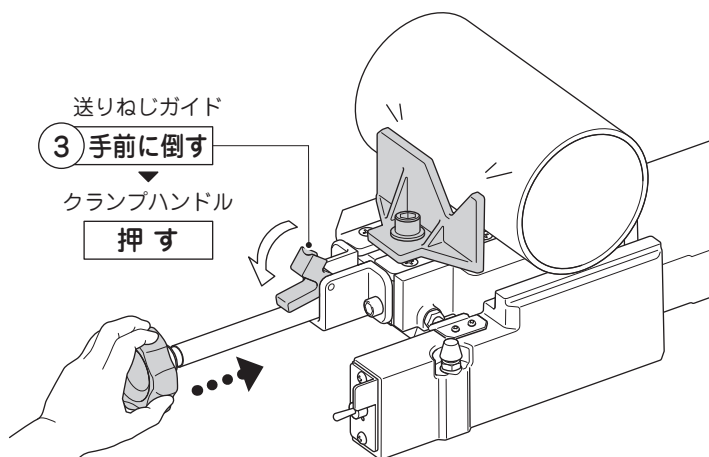
- ① フレームを 90° 起こし、ストッパーピンでロックします。



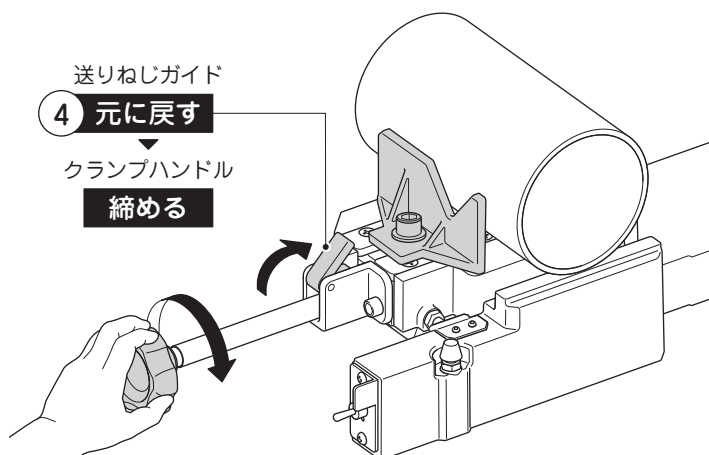
- ② 被切断材をバイス面に安定した状態で乗せます。



- ③ 送りねじガイドを手前に倒し、クランプハンドルを押して被切断材に近づけます。



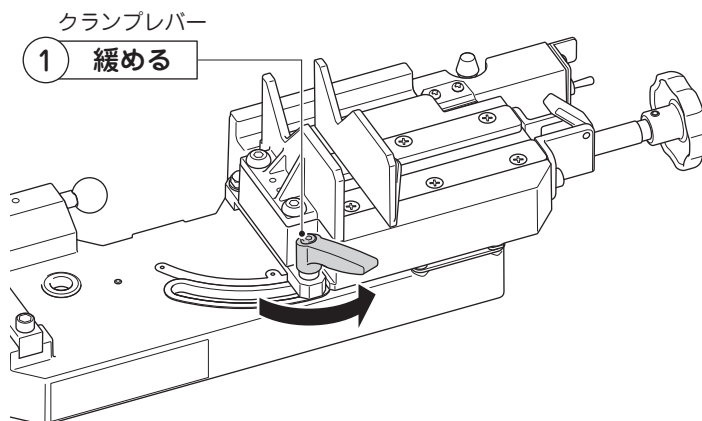
- ④ 接触が確認できたら、送りねじガイドを元に戻し、ハンドルを回して締め付けます。



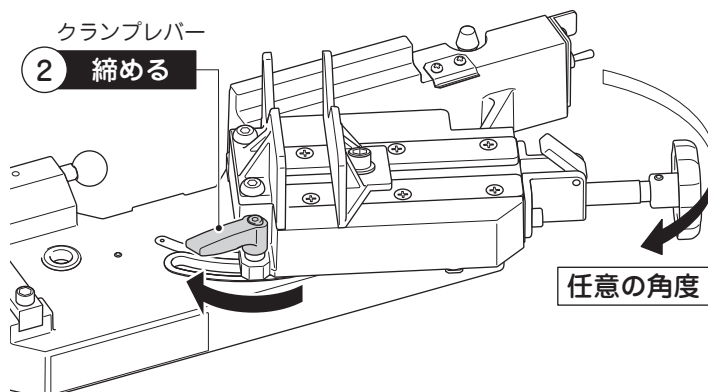
バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

角度切りを行いたい場合

- ① クランプレバーを反時計回りに回し、バイスの固定を緩めます。



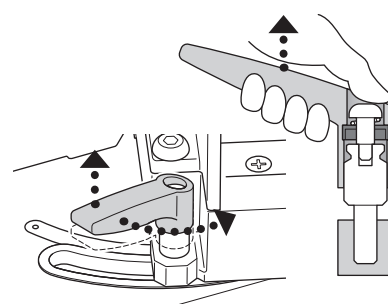
- ② バイスを任意の角度に回し、クランプレバーで再度締め付けます。



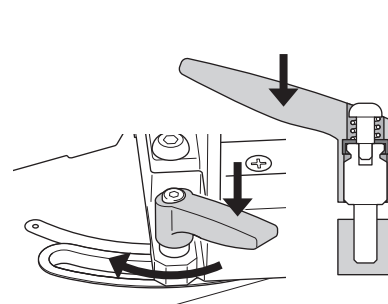
※ クランプレバーでの緩めや、締め付けが足りない場合は、右図のようにレバー部分だけを押し上げることでレバーとボルト間の固定が外れ、レバーを任意の位置で固定しなおすことができます。

さらに締め付ける場合

- レバー部
- ① 押し上げ
- 解除
- 戻す



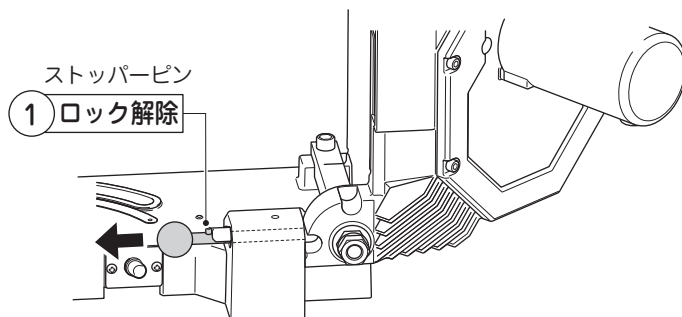
- レバー部
- ② 離す
- ロック
- さらに締める



BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

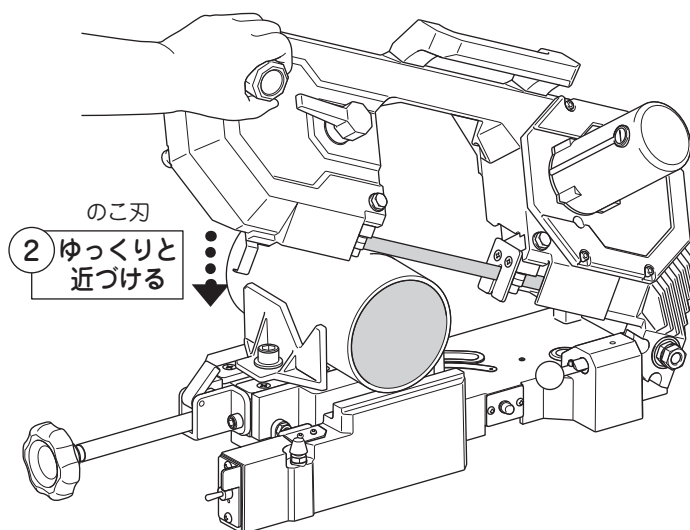
切断作業

- ① ストッパーピンを外し、フレームのロックを解除します。



- ② スイッチを ON、のこ刃の回転が安定していることを確認したらフレームを降下させて、被切断材にのこ刃を置きます。

※ 角度切りを行うときは、被切断材にのこ刃が少し食い込むまで、取手を手で支えてください。



⚠ 注意

◆ 被切断材には、のこ刃をゆっくりと近づけてください。

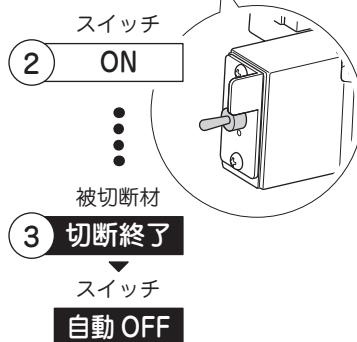
急に落としたり強く押しこむと機械の故障や事故、ケガの原因になります。

◆ 新品ののこ刃の場合、斜断が出やすいため、ならし切断が必要です。

取手を手で支えながらゆっくりと被切断材を1～2回切断してください。

◆ 肉厚 2mmを下回る被切断材を切断する場合は、取手を手で支えながら切断してください。

精度の低下や、機械の故障の原因となることがあります。

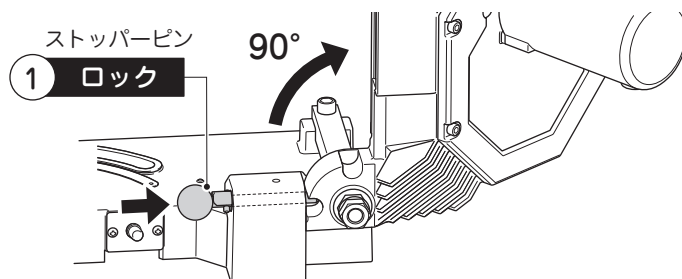


- ③ 切断終了時には、自動的にスイッチが OFF になります。

バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

材料を外す

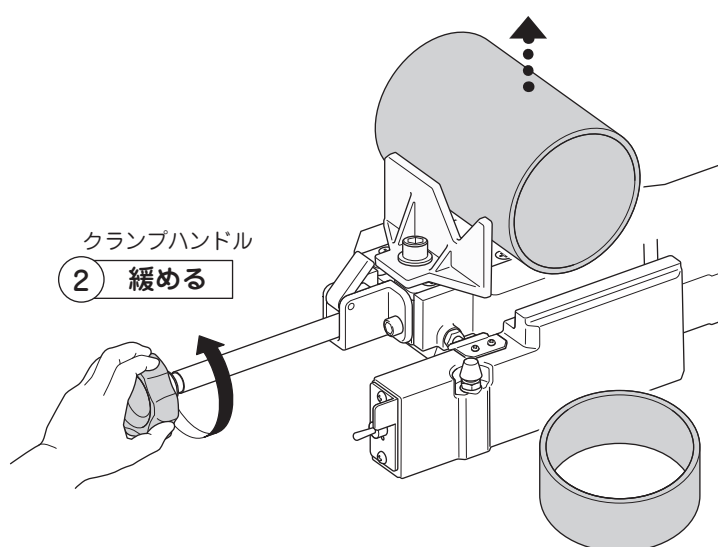
- ① 切断終了後、フレームを 90° 起こしストッパーピンでロックします。



- ② クランプハンドルを緩め被切断材を取り外します。

⚠ 注意

- ◆ 切断直後の断片は高温になっています。
- ◆ 直接手で触れないでください。
- ◆ 必ず、時間を置くかウエス等でお持ちください。やけどをする恐れがあります。



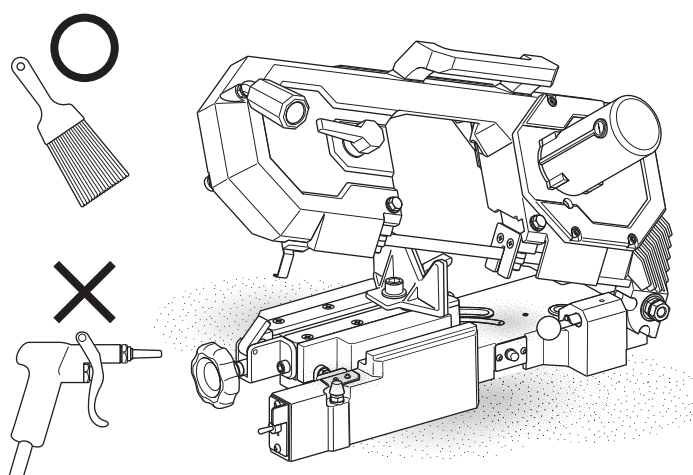
BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

使用後の清掃

⚠ 警告

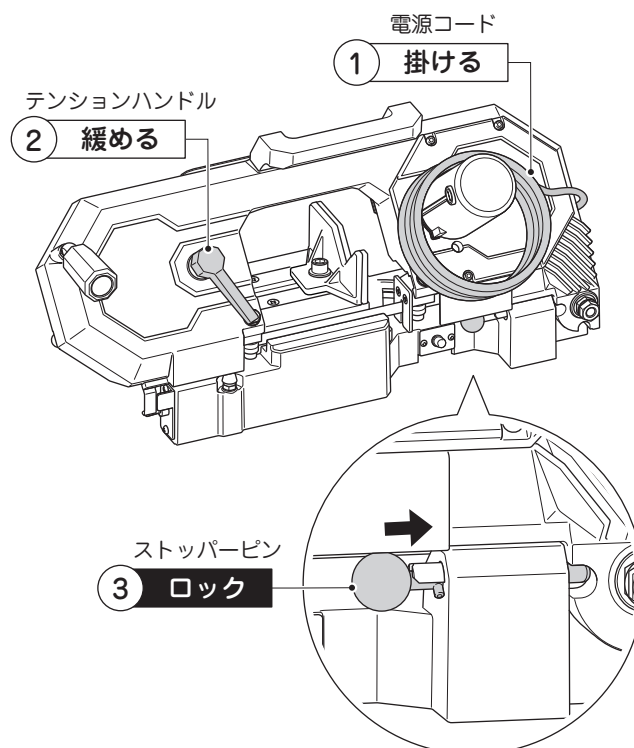
- ◆ 切粉をエアーで吹き飛ばさないでください。
目に入り失明することがあります。
- ◆ 切粉は鋭利ですから、素手で触らないでください。
必ず手袋をはめて作業をしてください。

- ① 本機上や周りに散乱している切粉を取り除きます。



保 管

- ① 電源コードを適当なリング状にしてモーターに掛けて保管してください。
- ② テンションハンドルを緩めた状態で保管してください。のこ刃が張った状態で保管すると、のこ刃の寿命が縮むことがあります。
- ③ フレームを倒した状態でストッパーピンを差し込んで保管してください。



バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

保守・点検

のこ刃の交換

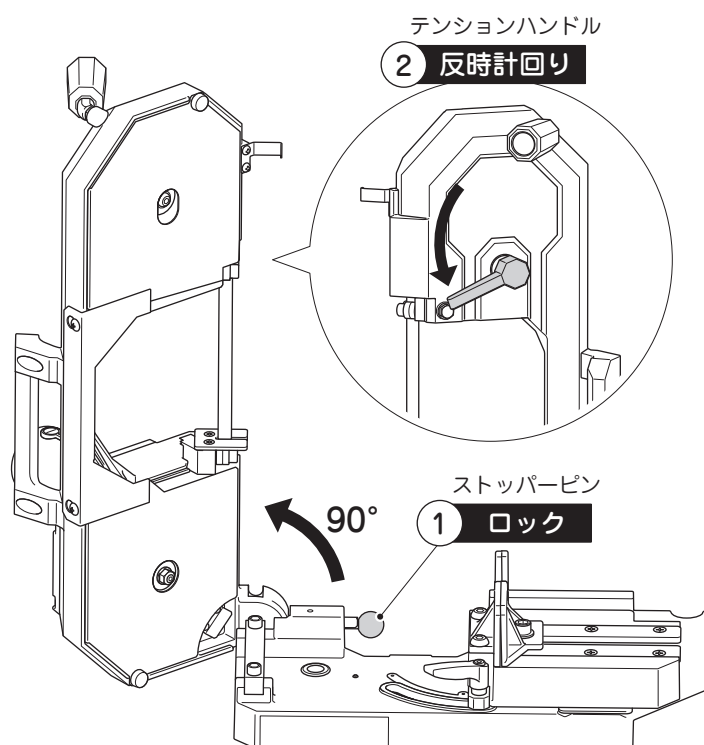
⚠ 警告

- ◆ のこ刃の交換時は、必ず電源コードを抜いてください。
不意に回りだしたりし、事故やケガの原因になります。
- ◆ フレーム裏板を開くときには、のこ刃の飛び出しに注意してください。
- ◆ のこ刃を正しく機械にセットしたら必ずフレーム裏板を閉じてください。
のこ刃が切れたり、外れたときに事故やケガの原因になります。

⚠ 注意

- ◆ のこ刃に付着している油や汚れを完全に拭き取ってから取り付けてください。
のこ刃が切れたり外れたときに事故やケガの原因になります。
- ◆ フレーム裏板は必ず付属のねじで固定してください。
正しく固定されていないと、フレーム裏板が破損したりのこ刃が飛び出す恐れがあります。
- ◆ 新品ののこ刃の場合、斜断が出やすいため、ならし切断が必要です。
取手を手で支えながらゆっくりと被切断材を1～2回切断してください。
- ◆ のこ刃は鋭利ですから、素手で触らないでください。

- ① フレームを90°起こしストッパーピンでロックします。
- ② テンションハンドルを反時計方向へ回してください。のこ刃が緩みます。



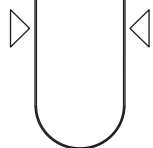
BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

- ③ フレーム裏板を開け、のこ刃を図の D → C → B → A の順序で取り外してください。

- ④ 新品ののこ刃を図の A → B → C → D の順序で取り付けてください。

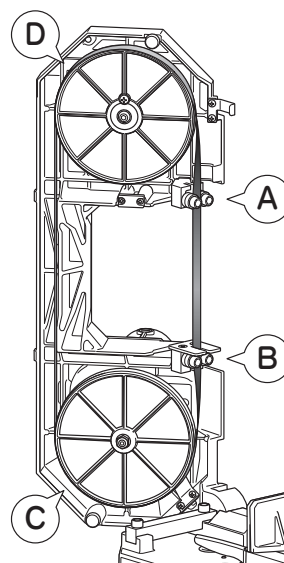
Point

のこ刃を取り付けるときは △ の位置を押し、のこ刃を小判形にすると簡単に取り付けすることができます。



- ⑤ テンションハンドルを時計方向へ回してください。
のこ刃が張ります。

- ⑥ のこ刃を手で回して、回ることを確認してください。

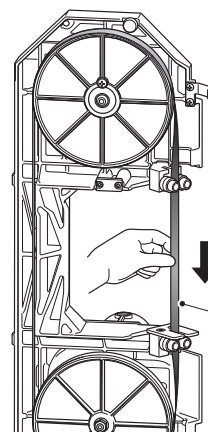


③ 取り外す

D → C → B → A

④ 取付ける

A → B → C → D



テンションハンドル

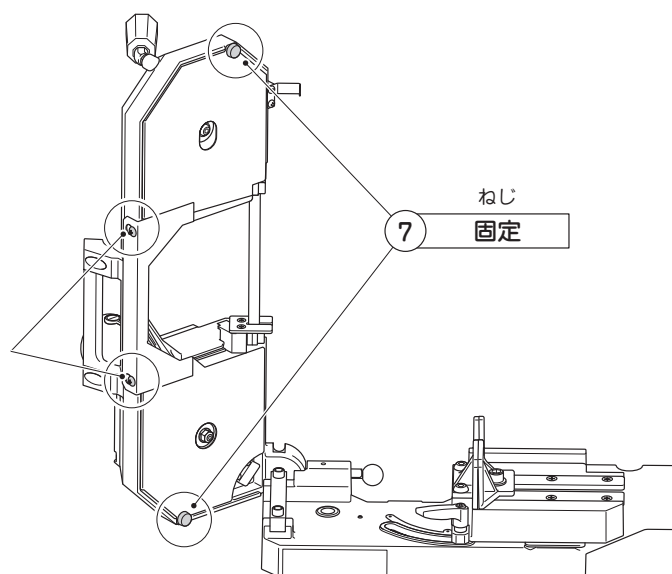
⑤ 時計回り

のこ刃

⑥ 手で回す

- ⑦ フレーム裏板をはめ直し、ねじで固定してください。

2 点は引っかけとして使用



ねじ

⑦ 固定

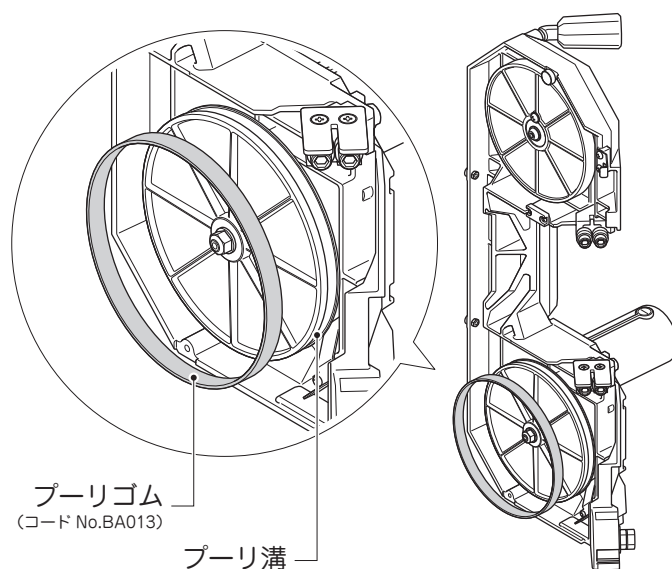
バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

プーリゴムの交換

⚠ 警告

- ◆ プーリゴムの交換時は、必ず電源コードを抜いてください。
不意に回りだしたりし、事故やケガの原因になります
- ◆ フレーム裏板を開くときには、のこ刃の飛び出しに注意してください。

- ① のこ刃の交換の①～③を参照して、のこ刃を取り外してください。
- ② プーリゴムをつまんで手前に引き抜いてください。
- ③ 新品のプーリゴムをプーリ溝にはまるようにはめ込んでください。
- ④ のこ刃の交換の④～⑦を参照して、のこ刃を取り付けてください。



BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

カーボンブラシの交換

⚠ 警告

◆ 感電しますので電源プラグを抜いてください。

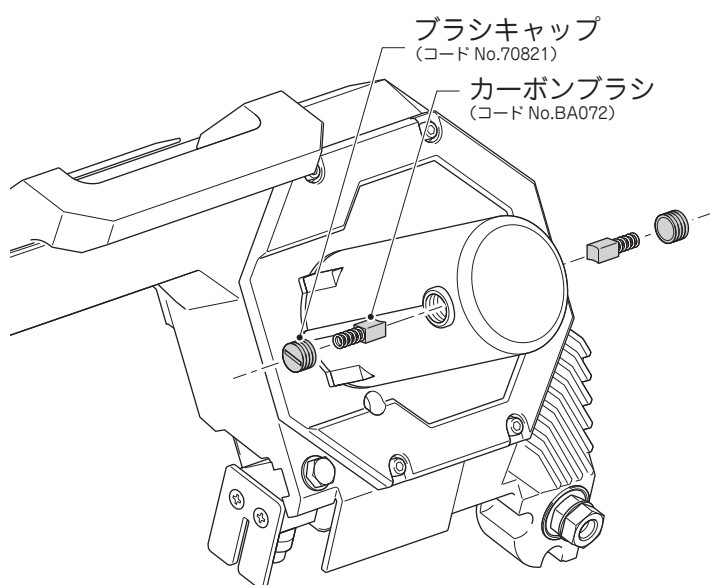
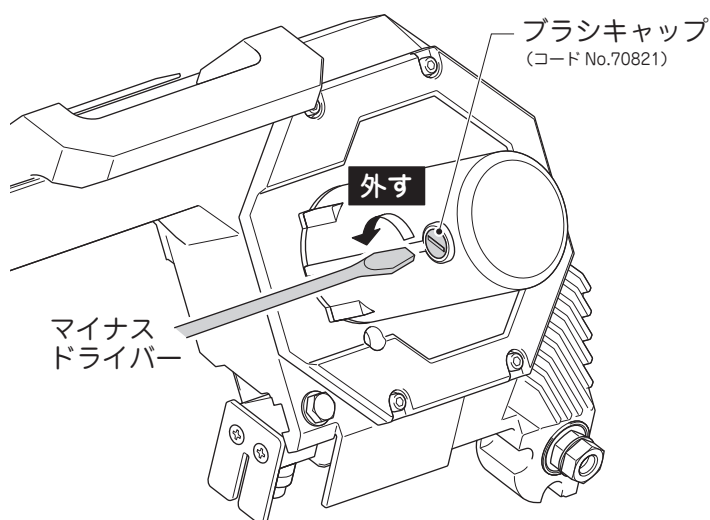
⚠ 注意

◆ 新品のカーボンブラシに油、切粉等を付けないでください。
手袋等の汚れがつかないようにしてください。

- モータ部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モータの故障の原因となりますので、新品と交換してください。

- ① マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずして、古いカーボンブラシを取り出します。
- ② 新しいカーボンブラシをブラシホルダの角穴に合わせて指で押し込みます
- ③ ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで締め付けます。



バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

日常の点検とお手入れ

⚠ 注意

- ◆ モータ部は水などで濡らさないでください。
機械の故障や感電の可能性があります。

- 電源プラグ、電源コードや延長コードが損傷していたら、すぐに交換してください。



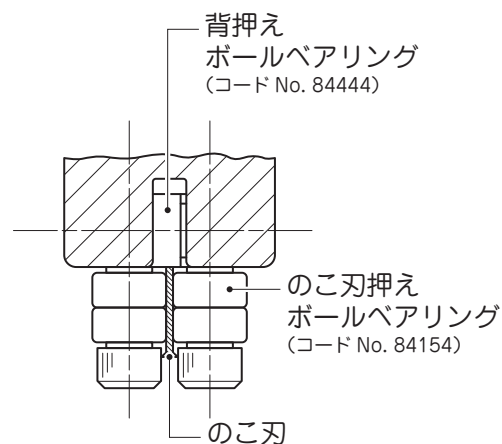
電源プラグ、電源コードや延長コードの損傷

- のこ刃の刃欠け、損傷はないか確認してください。
刃欠け、損傷のある場合はのこ刃を交換してください。
のこ刃の交換方法は、" のこ刃の交換 " を参照してください。



のこ刃の損傷

- 背押えボールベアリング及びのこ刃押えボールベアリングの点検をしてください。
正しくセットされていないと、切断精度が悪くなる原因となります。
ボールベアリングが磨耗している時は新品と交換してください。（両側共すべて取り換えてください。）



- 各部の取り付けねじが緩んでいないか確認してください。
緩んだまま使用すると危険ですので増し締めをしてください。
- 本機に付いているゴミや切粉を拭き取ってください。

BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

修理・サービスを依頼される前に

- 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断に従って点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社営業所にご相談ください。
- 正しくご使用いただかない場合や本機の用途以外に使用して故障した場合は、保証の対象外となります。

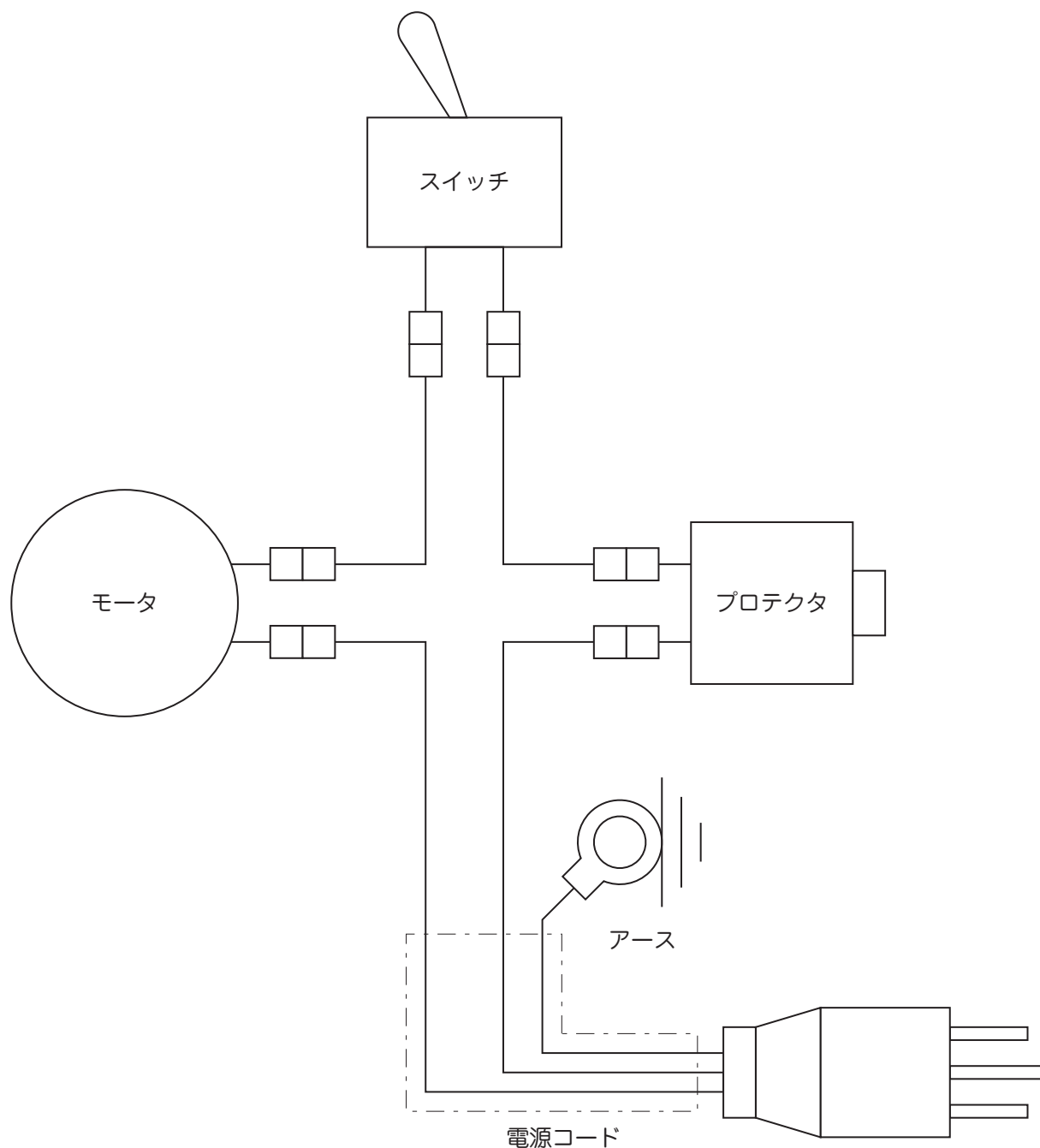
トラブル	原因	処置
斜め切断	ならし切断が不十分。	新品ののこ刃の場合、ならし切断が必要です。 一旦、斜断するとのこ刃に癖がついてしまい、斜断調整を行っても斜め切断する傾向があります。 その場合、新しい刃に交換し、きちんとならし切断を行ってから切断しなおしてください。
	切断速度が適切でない。	手でフレームを支えながら切断してください。
	のこ刃のセットが悪い。	のこ刃をのこ刃ガイドのベアリングに正しくセットしてください。
	斜断が発生したのこ刃の使用またはのこ刃の摩耗。	のこ刃を交換してください。
	のこ刃山数が被切断材に合っていない。	被切断材に合った山数ののこ刃を選定してください。
	のこ刃ガイド部、ベアリング部の摩耗。	ベアリングの交換。 (交換は左右同時におこなってください)
	切断中に被切断材が動く。	被切断材がバイス面と水平に接地するようセットしてください。
	被切断材の締め付け状態。	長方形のものは高さになるべく低くなるように締め付けてください。
	純正品以外ののこ刃使用。	純正品ののこ刃を使用してください。
切断時間が長い	のこ刃山数が被切断材に合っていない。	被切断材に合った山数ののこ刃を選定してください。
	のこ刃の摩耗。	のこ刃を交換してください。
刃欠け	のこ刃荷重が重い、または被切断材が薄い。	手でフレームを支えながら切断してください。
	切断中に被切断材が動く。	被切断材がバイス面と水平に接地するようセットしてください。
	のこ刃を衝撃的に被切断材に当たった。	ゆっくりと近づけ、静かに置いてください。
	のこ刃山数が被切断材に合っていない。	被切断材に合った山数ののこ刃を選定してください。

バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

トラブル	原因	処置
切断中の振動	のこ刃が欠けている。	新品ののこ刃に交換してください。
	テンションハンドルのセット不良。	テンションハンドルを締める方向へ回し切ってください。
	フレーム裏板が正しく閉まっていない。	フレーム裏板を正しく取り付けてください。
のこ刃はずれ	のこ刃山数が被切断材に合っていない。	被切断材により、のこ刃山数を選択してください。
	のこ刃のセットが悪い。	のこ刃をのこ刃ガイドのベアリングに正しくセットしてください。
	のこ刃・プーリゴム・被切断材・のこ刃ガイドおよびベアリング部に油等がついている。	油等を拭き取ってください。
	従動プーリの摺動性が悪い。	異物を除去してください。
	テンションハンドルのセット不良。	テンションハンドルを締める方向へ正しくセットしてください。
	プーリゴムの摩耗。	プーリゴムを交換してください。
のこ刃のもぐり込み	切断終了時にのこ刃が被切断材より下がっている。	ストッパーボルトを調整してのこ刃の停止位置を上げてください。
モータが回らない	過負荷装置が作動している。	スイッチを OFF にして、過負荷保護装置復帰ボタンを押してください。
	電圧降下又はコードリールの長い物を使用している。	容量の大きいコードリールを使用してください。

BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

配線図



バンドソー ビーバー 4 ACTIVE

BAND SAW BEAVER4 ACTIVE

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号 :
購入年月日: 年 月 日
お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社	(バンコク)	アサダ・インド社	(ムンバイ)
台湾浅田股份有限公司	(台北)	上海浅田進出口有限公司	(上海)
アサダ・ベトナム社	(ホーチミン)	アサダ USA	(オレゴン州・ユージン)

工 場

犬山工場	(愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社	(松 阪 市)
アサダ・マシナリー社	(バンコク)

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

〈受付時間〉9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土日・祝日は除く)

www.asada.co.jp

Ver.03 コード No. IM0616